



園 だ よ り 3 月 号

Y M C A 保育園ねがい
2024年3月7日発行

「主よ、あなたの道をお教えてください。」詩編86章11節

天候の不順や感染症の蔓延などに悩まされる日々が続きます。それでも道が整えられ、今年度も最後の月を迎えられた事に感謝です。

「道」を切り拓くのは「人」でしょうか？聖書には「わたしは道であり、真理であり、命である。（ヨハネによる福音書14章6節）」とあります。

未来に不安が無いのが子どもなのかもしれません。生まれて初めての経験に心が奪われ、全身全霊をかけて「今を生きている」のが子どもです。そして、一人ひとりの経験が一人ひとりの道を拓き、日々目に見える形で子どもたちは成長します。エネルギーのかたまりの子どもたちが、全身で喜びを表現したり、怒ったり、泣いたり、じれたりする純粋な心にふれる時、大人も自然に笑顔が浮かびます。

それに比べて、子育て中はこの日々が永遠に続くように思っているかもしれません。未来の事は出口が見えないトンネルのよう、あるいは宇宙の真ん中に一人で放り出されたよう・・・！と、私は思ったものでした。

私は、今の自分の立ち位置は過去の「あの時のあの選択が分かれ道だった。」と、50才を迎えた頃から思うようになりました。

初めて職業を決める時に、子どもと過す事を願い「私の道を教えてください。」と祈ったことが今、示されて多くの日が反省と後悔しか浮かばない私にさえ、かけがえの無い時となっています。

4月から、新しい道が拓かれます。曲がり角も歩き続けると新しい景色が広がるはずです。心と身体が健やかに、笑顔があふれる日々が続きますように。

みなさまのご協力とお支えに感謝し、新たな年度にこれまで以上の豊かな恵みがありますことを祈ります。そして、新しく園のメンバーになる方々を温かくお迎えできることを願っています。

(園長 今井 世都)



雪の重みで倒れた木々をワイズメンズクラブの方々が補強し、剪定していただきました。